

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所医療用機械器具費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名		予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	国民健康保険診療所医療用機械器具費（各診療所）			款	2	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称			目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						
			健康保険診療所条例施行規則						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療用機械器具の維持管理
------	------------------

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	稼働している医療用機械器具について、診察に支障の無いように適正に管理する。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		X線管理区域の数	箇所	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・レントゲン装置の保守委託 ・レントゲン装置個人放射線量測定委託 ・診察X線管理区域放射線漏洩線量測定委託 等	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		適正に管理された医療用器具の台数	台	20	20	20	20
		放射線漏洩線量測定を受けた診療所	箇所	5	5	5	5
		事業費計	千円	3,212	4,078	4,510	4,969
		一般財源	千円	3,212	4,078	4,510	4,969
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			X線管理区域の数	箇所	5	5	5	5	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 （R7と過去3年平均の指標値増減）	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標	1指標		
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体		効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

放射線漏洩による被曝を防ぐことができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所医療用消耗器材費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名		予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	国民健康保険診療所医療用消耗器材費（各診療所）			款	2	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称		事業期間	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						
			根拠法令、条例等						
			佐野市国民健康保険診療所条例、佐野市国民健康保険診療所条例施行規則						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療用消耗品の購入、医療用廃棄物の処理委託、検査の委託等
------	----------------------------------

（2）目的		（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	佐野市国民健康保険診療所の受診者に対し、適正な診療を行うことができる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		臨床検査等の委託件数	件	値が大きいほど良い	8384	7671	7019	6422	5876

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・薬袋等の購入 ・医療用廃棄物の処理委託 ・臨床検査、MRI、CT検査等の委託 等	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		臨床検査等の委託件数	件	7,811	8,189	8,384	7,736
		延べ受診者数	人	14,710	13,584	12,253	11,209
		事業費計	千円	8,067	9,293	9,501	8,315
		一般財源	千円	7,874	9,114	9,175	8,091
		特定財源（国・県・他）	千円	193	179	326	224
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果		（4）事業効果を説明する数値データの推移							
効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		臨床検査等の委託件数	件	7,811	8,189	8,384	7736	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成		
	効果が下がった指標数	1指標	未達成		1指標
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	指標全体	効果が下がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医療用廃棄物の処理委託、検査の委託をし、適正な診療を行うことで安心した医療提供を行った。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所医薬品衛生材料費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課		国民健康保険診療所医薬品衛生材料費（各診療所）			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3121	名称		根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		佐野市国民健康保険診療所条例、佐野市国民健康保険診療所条例施行規則		事業期間	開始年度	S34	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業	
	施策	2	地域医療体制の充実								
	基本事業	1	地域医療体制の確保								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所の医療品購入
------	-----------

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	佐野市国民健康保険診療所の受診者に対し、適正な診療を行うことができる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	後期計画			
		ジェネリック医薬品の使用割合(数量ベース)	%	値が大きいほど良い	93.7	R8	R9	R10	R11

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		単価契約した医薬品種類	件	900	745	714	743
		延べ受診者数	人	14,710	13,584	12,253	11,209
		事業費計	千円	51,310	46,603	44,969	42,147
		一般財源	千円	51,310	46,603	44,969	42,147
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		ジェネリック医薬品の使用割合(数量ベース)	%	85.7	87.7	93.7	96.4	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	達成	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

薬品購入希望を取る際に後発医薬品（ジェネリック医薬品）の積極的使用促進を行った。ただしジェネリック医薬品の使用を強制することはできないことや供給が不安定なものがあるなど、細心の注意が必要となる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所研究研修費	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名		予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	国民健康保険診療所研究研修費（各診療所）			款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	2	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称		事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市国民健康保険診療所 条例、佐野市国民健康保険 診療所条例施行規則		開始年度	S34	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	診療所医師の研修、医学専門書の購入
------	-------------------

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	医師の医療知識や技術を高めることにより、必要なときに、安心して医療を受けることができるようにする。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		医師の配置ができた診療所	箇所	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・医学専門書や参考図書の購入 ・学会への参加	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		図書購入金額	千円	70	66	99	54
		事業費計	千円	160	247	151	192
		一般財源	千円	160	247	151	192
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療を提供できる。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		医師の配置ができた診療所	箇所		5	5	5	5	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成 達成 未達成 目標未設定	1指標	
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師の医療知識や技術を高めるために学会への参加と医学専門書や参考図書の購入を行った。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険診療所（野上診療所、新合診療所、飛駒診療所、常盤診療所、氷室診療所）及び医師住宅の維持管理
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市国民健康保険診療所及び医師住宅を良好な状態に保つ。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		業務に支障なく維持管理できた診療所の数	箇所	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・施設の修繕 ・火災保険の加入 ・し尿浄化槽の維持管理 ・除草剪定作業 ・警備の委託 ・清掃の委託	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		施設の修繕件数	件	17	16	13	12
		除草剪定作業回数	回	12	11	16	17
		事業費計	千円	3,663	3,590	3,728	3,760
		一般財源	千円	3,663	3,590	3,728	3,760
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		業務に支障なく維持管理できた診療所の数	箇所	5	5	5	5	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成 達成 未達成	1指標	
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
	指標全体	効果は変わらない			
	費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

修繕を行い、業務に支障なく診療所及び医師住宅を維持管理できた。市有施設適正配置計画に基づく統合や複合化の計画については、利用者へのアンケートを行った。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	国民健康保険診療所運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	国民健康保険法、佐野市国民健康保険診療所条例、佐野市国民健康保険診療所条例施行規則		開始年度	S34	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険診療所（野上診療所、新合診療所、飛駒診療所、常盤診療所、氷室診療所）の管理運営
------	--

（2）目的		（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	佐野市国民健康保険診療所の受診者が必要なときに、安心して医療を受けることができるようにする	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		医師の配置ができた診療所	箇所	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・派遣医師に関する事務 ・医師及び職員の配置 ・消耗品及び備品の購入 ・光熱水費の支払い ・往診車の維持管理 ・事務機器のリース等による診療所の運営	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		延べ受診者数	人	14,710	13,584	12,253	11,209
		診療日数	日	873	841	845	842
		事業費計	千円	57,684	51,125	79,953	83,620
		一般財源	千円	57,684	51,125	79,953	83,620
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		医師の配置ができた診療所	箇所	5	5	5	5	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	指標全体	効果は変わらない	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

県派遣医師及びへき地医療拠点病院と連携を図り5診療所に医師の配置ができた。 引き続き、県やへき地医療拠点病院と連携を図り、医師の配置を行う。又、現在の診療日数(野上、新合、飛駒、氷室の各診療所が週4日、常盤診療所が週2日)などを増やすことは難しい状況だが、介護などと連携を図り、地域包括ケアの拠点としての役割を担っていく。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	4-②	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S38	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実					
	基本事業	1	地域医療体制の確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地域医療体制の充実を図るため、地域医療の一端を担う准看護師の養成を行っている佐野市医師会附属佐野准看護学校に対して運営を支援する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市医師会附属佐野准看護学校の生徒が准看護師の資格を得て卒業する。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		補助対象学校数	校	値が大きいほど良い	1	1	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	<市の活動> 佐野市医師会附属佐野准看護学校を運営している佐野市医師会に補助金を交付した。また、市広報に学校見学会の案内掲載や市HPでのPR、市内公共施設に入学案内周知ポスターの掲示を依頼した。 <学校の活動> 准看護師の養成を行う学校運営を行った。（授業、学校見学会、周知活動など）	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		准看護学校学生数	人	34	41	30	26
		事業費計	千円	4,000	4,000	4,000	4,000
		一般財源	千円	4,000	4,000	4,000	4,000
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	准看護師養成のため、安定した学校運営を行えるようにする。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			補助対象学校数	校	1	1	1	1	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果は変わらない	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度は前年度に引き続き、入学者を確保するために、PR活動が実施された。引き続き、准看護学校と協力し、広報活動を行っていくことで、より安定した学校運営ができるよう支援していく。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	全国国民健康保険診療施設協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	1	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	(公社) 全国国保診療施設協議会会費規定、栃木県国保連合会負担金及び手数料の賦課徴収規則		開始年度	H1	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市国民健康保険直営診療所は、公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会（以下「国診協」）に加入しており、国診協の栃木県協議会事務局は栃木県国民健康保険団体連合会の負担金として納めている。国診協は、直営診療所を拠点とした「地域包括ケアシステム」の構築、推進のため国民健康保険団体連合会等の関係機関と連携し、学会、研修会、機関誌の発行等を行っている。
------	---

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	・超高齢社会に対応する地域包括医療、地域包括ケアの充実強化、地域包括ケアシステムの構築等の最新情報を得る。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		機関誌「地域医療」の配布	回	値が大きいほど良い	4	4	4	4	4

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	・栃木県国民健康保険団体連合会負担金（診療施設割）の支払い ・栃木県国民健康保険団体連合会診療施設部会医師会会員負担金（医師割）の支払い ・国診協の機関誌「地域医療」及び「全国国保地域医療学会特集号」の受領	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		機関誌「地域医療」の配布	回	4	4	4	4
		事業費計	千円	500	500	500	500
		一般財源	千円	500	500	500	500
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療等を提供できる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		機関誌「地域医療」の配布	回	4	4	4	4	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	指標全体	効果は変わらない	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

機関誌等で直営診療所を拠点とした「地域包括ケアシステム」の構築推進のための情報を得た。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	医療機器等整備支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R6	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R7	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野医師会病院、佐野厚生総合病院、佐野市民病院、佐野休日歯科診療所の医療機器整備等に要する経費を助成することにより、市民が安心して暮らせるよう、地域医療体制及び救急医療体制の確保と充実を図ることを目的として、補助を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安全で質の高い医療を効率的に提供する体制を確保し、地域医療の充実を図る。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		対象病院等数	箇所	値が大きいほど良い	4	4	4	4	4

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	<市の活動> 佐野厚生総合病院に医療施設改修に対する補助金を交付した。 <佐野厚生総合病院の活動> 佐野厚生総合病院の医療施設改修を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		補助件数	件			1	1
		事業費計	千円	0	0	28,300	28,600
		一般財源	千円			28,300	28,600
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	新たな医療機器や、医療施設の改修への補助を行ったことにより、市民へのより安心・安全な医療提供が確立することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		対象病院等数	箇所			4	4	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成	
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医療施設の改修への補助を行ったことにより、市民へのより安心・安全な医療提供が確立することができた。引き続き、規定に該当する補助申請があった場合は、佐野市の医療提供の確保のため支援をしていきたい。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	市民病院救急医療等推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		市民病院救急医療等推進事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	1	地域医療体制の確保						
				佐野市民病院の譲渡に関する基本協定書					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市民病院の救急医療等の維持について支援を行う。
------	---------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市民病院の救急医療等の維持について支援することで、救急医療などの地域医療体制の確保を行い、市民に身近で安心した医療の提供を行う。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		対象施設数	箇所	値が大きいほど良い	1	1	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市民病院を運営する社会医療法人財団佐野メディカルセンターに救急医療等維持交付金を交付した。 <佐野メディカルセンターの活動> 佐野市民病院の救急医療を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		延べ救急受診患者数	人	1,389	1,403	1,501	1,327
		事業費計	千円	20,000	20,000	20,000	20,000
		一般財源	千円	20,000	20,000	20,000	20,000
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	佐野市民病院の救急医療体制等の維持について支援を行うことで、地域医療体制を確保し、市民に身近で安心した医療サービスを提供した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		対象施設数	箇所	1	1	1	1	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標		1指標		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成		
	効果は変わらない指標数	1指標		未達成		
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定			
	指標全体	効果は変わらない				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市民病院の救急医療等の維持について支援し、市民に身近で安心した医療等を提供した。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	市民病院等施設整備支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課		市民病院等施設整備支援事業			款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3121	名称	根拠法令、条例等		事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		佐野市民病院の譲渡に関する基本協定書		開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	R12	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実							
	基本事業	1	地域医療体制の確保							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	民設民営化後の佐野市民病院及び併設施設の施設整備に対する支援を行うことで、市民の安心安全な医療サービスの確保を図る。
------	--

（2）目的		（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	民設民営化後の佐野市民病院及び併設施設の施設整備に対する支援を行うことで、市民の安心安全な医療サービスの確保を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		対象施設数	箇所	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	<市の活動> 佐野市民病院及び併設施設を運営する社会医療法人財団佐野メディカルセンターに施設整備費補助金を交付した。 <佐野メディカルセンターの活動> 佐野市民病院及び併設施設の施設整備を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		延べ外来患者数・入院患者数	人	119,076	113,488	119,371	122,930
		延べあそヘルホス入所者数・通所者数	人	39,597	39,658	39,302	37,912
		事業費計	千円	200,000	200,000	200,000	40,000
		一般財源	千円	200,000	200,000	200,000	40,000
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果		（4）事業効果を説明する数値データの推移							
効果説明	施設整備を行うことで、市民に対し安心安全の医療サービスを提供した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		対象施設数	箇所	4	4	5	5	効果が上がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
指標全体		効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R5年度に完成した新棟を中心に機器、衛生面や安全面が向上、A棟の改修工事が開始された。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野休日・夜間緊急診療所運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3122	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	2	救急・高度医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	休日及び夜間における市民の医療負担の解消を図るため、休日及び夜間における急患の診療を行っている「佐野休日・夜間緊急診療所」の運営を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	休日及び夜間における市民の医療不安の解消を図るため、診療所開設の運営支援をする。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		診療所開設日数（休日）	日	値が大きいほど良い	71	71	70	70	72
		診療所開設日数（夜間）	日	値が大きいほど良い	365	365	366	365	365

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 休日・夜間緊急診療所を運営する佐野市医師会に補助金を交付した。 <診療所の活動> 休日及び夜間に来所した手術や入院治療を必要としない怪我や病気の患者の治療を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		休日における1日当たりの受診	人	65.5	86.7	83.7	74.7
		夜間における1日当たりの受診	人	10.7	15.5	13.8	12.9
		事業費計	千円	32,000	32,000	32,000	32,000
		一般財源	千円	27,453	25,921	25,935	25,935
		特定財源（国・県・他）	千円	4,547	6,079	6,065	6,065
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	休日及び夜間における市民の医療不安の解消を図るため、診療所開設の運営支援をした。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			診療所開設日数（休日）	日	70	71	71	71	効果が上がった	○
			診療所開設日数（夜間）	日	365	366	365	365	効果が下がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	2指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度においても、ここ数年並みの利用者数となり、いかに佐野休日夜間緊急診療所が佐野市の医療を支えているかわかる。特に年末年始においては、他の診療機関が診療していないなか、佐野市医師会の尽力により運営がなされてきた。今後の課題としては、診療する医師が高齢化しつつあることが挙げられる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	両毛救急医療圏二次救急医療推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	両毛救急医療圏二次救急医療推進事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3122	名称		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S54	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実					
	基本事業	2	救急・高度医療体制の充実					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	二次救急医療及び小児二次救急医療を担っている病院群輪番制病院に対し、運営等の支援を行う。 なお、事務局は佐野市と足利市で2年交代で実施し、R4～5は足利市、R6～7は佐野市が事務局となる。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の救急時における医療不安を解消させ、二次救急医療病院群輪番制病院の救急医療体制を円滑に行えるようにする。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		安足地域の輪番医療機関数	箇所	値が大きいほど良い	2	2	2	2	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 事務局として、対象病院へ病院群輪番制病院運営費補助金、小児救急医療支援事業運営費補助金及び二次救急医療設備整備費補助金を支出。 また、栃木県への補助申請及び足利市へ負担金請求を行った。 <団体の活動> 輪番方式により、休日・夜間等における救急車等による直接搬送またはかかりつけの診療所など初期救急医療機関から搬送されてくる重傷救急患者の治療を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		病院群輪番制病院救急患者数（年間）	人	7,693	8,401	8,179	8,665
		事業費計	千円	16,044	16,190	56,656	60,872
		一般財源	千円	16,044	16,190	16,027	16,654
		特定財源（国・県・他）	千円			40,629	44,218
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市民の医療不安解消のため、「二次救急医療が受けられる医療機関数」の病院数を維持できるよう支援した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		安足地域の輪番医療機関数	箇所	2	2	2	2	効果は変わらない	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標		1指標		
	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
費用（R7とR6の事業費計増減）	指標全体	効果は変わらない	目標未設定			
	費用が増加した					

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

救急患者を受け入れる病院数を一定数確保し続けることで、緊急時の市民の安心へ繋がっていくため、引き続き事業を継続していきたい。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野休日歯科診療所指定管理事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	I－⑥	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課	佐野休日歯科診療所指定管			款	4	新規or継続	新規事業
	係	地域医療係	理事業			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3122	名称		事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R7	実施方法	指定管理者
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	地域医療体制の充実						
	基本事業	2	救急・高度医療体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	休日における歯科診療の不安を解消するために、休日に急患の診療を行う「佐野休日歯科診療所」の運営について、指定管理を挿入する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	休日における歯科診療の不安を解消するため、診療所開設の運営を行う。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		年間診療所開設日数	日	値が大きいほど良い	74	74	73	73	75

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野休日歯科診療所を運営する佐野歯科医師会を指定管理者として指名し、運営委託を行った。 <診療所の活動> 休日における応急的な治療を要する患者の治療を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		1日当たりの受診者数	人				1.8
		事業費計	千円				4,000
		一般財源	千円				4,000
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	休日における歯科診療の不安を解消するため、指定管理制度により診療所を開設運営を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		年間診療所開設日数	日				74	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標	1指標		
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度から佐野市保健センターに併設して移転を行い、指定管理者制度を導入した上で運営を進めた。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------